



2007年1月17日(水) 横浜を歩きました。みなとみらい線の開業、マリインタワーと氷川丸を経営していた会社の解散などがニュースで報じられ、変化し進化する横浜を見てみようと思ったのです。横浜ってどんなところ？ 広すぎてなんて答えていいのか…。ならば、観光地横浜なら？ そうすると、横浜駅から始まって、みなとみらい、山下公園、港の見える丘、元町、本牧、中華街といったところでしょうか…。昔からあるものはそのまま残り、変わりながら生きのびる街、新たに生まれるものたち。横浜の素晴らしさで人気がある所以でしょう。横浜を歩いていると、街が話しかけてくるような気がします。

「楽しいですか？」 「さがしものはみつかりましたか？」 「おいしかったですか？」 「なつかしいですか？」 「ときめいてますか？」

「でも、雨で寒くて…」

「なら、暖かいところでのんびりすればいいのに」

「でも、歩きに来たんだから」

「それは今度にしたら？」

そんなことに気付いたのは最後の中華街で飲み食いしているときでした。



小野さんがいない！

8時30分、JR町田駅に集合したのは、小野さん、加藤さん、宮部さん、板垣さん、大貫さん、佐藤さん、向山さん、加々井さん、町田の9名。加々井さんは小野さんのテニス仲間、今年の夏に富士山登頂を目指しハイキングを始めたということでした。

8時33分の始発電車に乗り、終点の東神奈川で京浜東北線で横浜駅に到着します。町田始発の電車だったことと、平日の通勤ラッシュのピークは過ぎていたようで、人混みのストレスはほとんどありませんでした。問題は、久しぶりにやってきた横浜駅の迷路。シーバスで赤レンガパークに向かおうとシーバス乗り場を目指して駅構内の案内標識に従って進みます。地下から地上のバスターミナルの横をすり抜けて、ようやく2階の通路に出ることができました。ここで加々井さんのために自己紹介を、と思ったら小野さんがいません。“まさか、ここではくれないなんて！”町田と加々井さんで小野さんを捜しに戻ります。そごうの入口の上のデッキに小野さんを発見。ああビックリした。みんなが待っている場所へ移動して簡単に自己紹介をしました。

シーバスはまだ動いていない

動く歩道を通り、シーバス乗り場へ着いたのですが、まだ営業してなく、始発は10時10分、30分以上あります。赤レンガパークまでシーバスでワープしてしまおうと思ったのですが、小雨の中を歩き始めました。シーバス乗り場のすぐ上



の“みなとみらい大橋”を渡り、みなとみらい線の新高島駅を越えたら左折します。車道が突き当たると右が“パシフィコ横浜”の展示ホールです。展示ホールに上がると目の前に“臨港パーク”が広がっていました。

臨港パークの中を進むと海に突き当たります。この海は“横浜港”。人工の埋立地に囲まれた大きな安全な港です。海に沿って右に歩いて行くと正面に“ぶかりさん橋”が見え、横浜駅10時10分発のシーバスが到着するところです。グッド・タイミングとも思ったのですが、次の赤レンガパークまではすぐですし、慌ただしく乗り込むほどの魅力を感じなかったので見送りました。

赤レンガ倉庫もまだ

横浜港に背を向け、国際大通りに上り左へ歩きます。大きな観覧車のある“よこはまコスモワールド”を通り過ぎたところで、小野さんが「寒いから、温かいコーヒーでも飲もうよ」と提案。右に“横浜ワールドポーターズ”があり、その中ならそんな場所がありそうなので向かおうとしたのですが、「赤レンガ倉庫まで行ってみようよ」と加藤さん。確かに赤レンガ倉庫が正面に見えていて距離もたいしたことはなさそうなので、赤レンガ倉庫を目指すことにしました。

ほどなく赤レンガ倉庫に到着しました。“これが話題の赤レンガ倉庫か”中に入るのが楽しみになったのですが、開館は11時とこれまた30分も時間があります。しかし、ここはせっか





くなので開館まで待つことにしました。この倉庫は、新港埠頭の税関施設として明治末期から大正初期にかけて造られ、1989年に税関施設としての役目を終えるまで、横浜港のシンボルとして親しまれました。2002年、商業施設として新しく生まれ変わり人気を集めています。大さん橋ふ頭に停泊中の豪華客船飛鳥を眺めながら時間をつぶすことにします。「どれくらいの重さなんだろう？」なんて話題がありましたから調べてみました。重量は、約5万トン、客室は400あり800名収容で乗組員が440名ということです。なんだかピンときませんが…。ちなみに氷川丸は、1万2千トン、乗客280名、乗組員130名ということです。

ようやく開館の時間となり、中に入ることができました。加藤さんが奥さんにハムの購入を頼まれていた鎌倉ハムのお店に直行します。小野さんと加々井さんはここで、軽食を注文して食べることにしました。そこで、1時間自由行動ということにして解散し、それぞれこの倉庫を散策することにしたのですが…。食することには意欲が湧くものの、ショッピングということには興味が全くないため、みんなほどなく鎌倉ハムの前に戻ってきて、結局ここで軽食を注文したのでした。軽くビールを飲んだりして赤レンガ倉庫を出たのは12時過ぎ、小雨の中、山下公園へ向かいました。

なんだか寂しい

マリントワーと氷川丸

新港橋を渡ると、“山下臨港線プロムナード”という遊歩道が



山下公園まで延びています。宮部さんは、このあたりで働いていたのですが、久しぶりに訪れてその変わり様に驚きながらも懐かしがっています。そして、山下公園。ここは、あまり変わらないような気もするのですが、氷川丸が公園のオブジェと化して海に浮いています。



そして、少し離れたところにマリントワーが見えます。赤く輝いていたマリントワーは、なんとなく灰色がかったような気がしました。

山下公園を抜け、“人形の家”の前を通り“港の見える丘公園”に入ります。人形の家の前で向山さんに「ここは、兼高かおるさんが世界の旅で集めた人形を展示しているんですよね？」尋ねられたのですが「そうなんですか？」すぐにガイドブックを見たのですが、そのような説明はありませんでした。インターネットを利用して調べたところ、向山さんの言う通りで、1986年より昨年5月まで館長をしていたということです。ここは、昭和61年に山下公園前に誕生したスポットで、世界約140カ国、約10,000体の人形を収蔵・展示し、人形達の服装や表情などから、それぞれの国の風俗・文化の違いを楽しめ、思わず海外に行きたくなるデート&観光スポットなのです。





変わらない横浜名所

フランス山から港の見える丘に到着。ここのたたずまいは、おばあちゃんの家に来たような和やかさがあります。でも、見える景色はシンプルではなく、複雑怪奇(?)...、...、空と海と船と港だけでいいのに。ここに、横浜らしさを感じたりして、集合写真を撮りました。



港の見える丘公園を出るとすぐに横浜外人墓地です。ここは、いつ来ても同じ風景、聖なる落ち着きがあります。日本の墓地が洋風になりつつありますが、ここにはありません。日本ってビーフ・ステーキをビフテキとしたころから変わっていないなあ。今でも、パソコン(パーソナル・コンピューター)ですから。外人墓地の脇から中華街へ向かう近道がありましたが、もう少し歩くことにします。隣の元町公園の前に公衆電話ボックス発見！洋館のデザインのボックス入口に“自動電話”という文字。一昔前なら“うわーっ面白い！”と感ずるのですが、携帯電話の時代、公衆電話が無くなりつつある中、いつまで存在するのかと思ってしまいました。元町公園を過ぎた右の角に“どうぞお入り下さい”と誘うように門の開いている洋館があり、中に入ります。広い芝生の庭の奥にしゃれた建物。見学自由とあり、中にも侵入することに。ここは、1930(昭和5)年にイギリス人貿易商ベリックの邸宅として建てられた“ベリック・ホール”と呼ばれている、とてもきれいな洋館です。現存する山手外国人住宅で最大規模の建物として横浜市が管理しています。中を見学していると、ホールでピアノの演奏が始まりしばしのんびりと聞き入ってしまいました。でも、いつ終わるの？という感じなので途中で失礼して、横浜ウォーク再開。



ようやく中華街

山手本通りを根岸森林公園に向かって歩きます。高台となっているいわゆる山手は、高級住宅が並んでいます。一軒一軒が大きくて立派で圧倒されてしまいました。さすが山手！そして、道は下り坂になり、下りきったところの交差点を越えると庶民的な風景に変わりました。懐かしい匂いのする商店街。今にも再開発という波に飲み込まれてしまいそうな雰囲気なのですが、ここには、そんな言葉は無いのかも...。もう一度坂を上って、根岸森林公園に到着しました。天気が良くて暖かかったらゆっくり散策したいところですが、残念。それより、みんなの頭の中に、お預けとなっている中華街が拡がりました。根岸森林公園入口前のバス停からバスに乗り、中華街へ直行！



でも、どこに入ろう？誰も行きつけなんてありません。迷っていても時間がたつばかりです。適当な場所に入り、注文も安いコースにして、まずビールで乾杯！あとは、やはり紹興酒を飲んでいい気分になりました。そして、元町・中華街駅からみなとみらい線に乗り、菊名で横浜線に乗り換えて帰りました。



町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577 ホ -22-101 042-793-1271
大貫洋	194-0033	東京都町田市木曽町 1072-12 042-792-1564
佐藤忠夫	192-0364	東京都八王子市南大沢 2-12-3 0426-76-6246
向山三郎	194-0204	東京都町田市小山田桜台 1-735-2 042-797-4329
加々井悦朗	194-0043	東京都町田市成瀬台 3-11-7 042-727-0546